

# あかまつ

2月3日現在在籍数 284名

気仙沼市立松岩小学校

■ 本校の教育目標 ■

志を持ち、  
かしこく、やさしく、たくましく  
生きる児童の育成

令和6年度 学校だより NO.10

令和7年2月3日（月）発行

## 立春

気仙沼市立松岩小学校 校長 佐々木 裕作

今日は、二十四節気の一つ「立春」で、暦の上では、冬が終わり、春の始まり日とされています。昨日は、節分のため、御家庭では、豆まきをしたり、恵方巻きを食べたりしたのではないのでしょうか（私の小さい頃は、恵方巻きを食べる習慣がなかったので、未だになじめずにいます）。

先週の火曜日は、講話朝会でした。子供たちに昔から日本に伝わる季節に関わる話をしたいと思い、「立春」と「節分」についての話をした後に、節分の日に行く「豆まき」のことについて話しました。子供たちに話したことは、以下のようなことです。

<p>まめ <b>豆まきをするわけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>みんなが健康で、幸せにすごせるように、悪いものを追い出すため</li><li>「鬼は外。福は内」。</li><li>でも、鬼って何？</li></ul> 	<p>おかし <b>昔の人は…</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>病気の原因になるような人間の目には見えないものなど、人間にとって悪いものごとを全て鬼と考えていた。</li><li>「鬼滅の鬼」とは、ちょっと違う。</li></ul> 
<p>おに じつ ところ なか <b>この鬼、実はみんなの心の中にも…</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>いじわる鬼</li><li>散らかし鬼</li><li>夜ふかし鬼</li><li>いらいら鬼</li></ul> 	<p>ところ なか おに <b>みんなの心の中に、いやな鬼がいたら…</b></p> <p>ことし せつぶん <b>今年の節分で、おだ 追い出そう！</b></p> 

「ここは自分のためなところだよな。直した方がいいな。でも…」 「あの時は、こうすればよかったのにな。でも…」 ということは、人間誰しもあることです。人は、そのような弱さを持っていること、また、弱さを持つてはいるものの、よりよく生きるために大切なことを適切に判断し、実行する力も持っていること、このことを道徳では「人間理解」と言い、授業の中で子供たちに考えさせ、これからの自分の生き方に生かすことができるようにしています。

現在、来年度の学校経営方針について立案しているところですが、それを考えている時に「自己指導能力」という言葉を目にしました。自己指導能力とは、「その時、その場でどのような行動が適切であるかを自分で考え、決定し、実行する能力」のことを言います。また、「適切な行動」とは「自分のためにもなり、他の人のためにもなる行動」のことを言います。この力は、他者と共によりよく生きていくために、子供たちに、是非、身に付けさせたい力だと強く思いました。また、これは、子供たちのみならず、我々大人も強く意識しなければならないことだと思いました。なぜなら、子供たちの育ちには、我々大人の言動が、大きく影響するからです。「大人が子供たちにとってよりよい範でなければ」と、気持ちを新たにしましたところ。